

うえるかむ

WELCOME YAMAGATA! COMMUNICATION FREE PAPER.



山形に避難されている方へ伝えたいメッセージ

CONTENTS

- ・福島ロッカーズの挑戦/週末移動支援バス「うえるかむ号」
- ・福島県情報 除染か 避難か
- ・宮城県情報 宮城県民の皆様へ ・冬生活を楽しくもう
- ・山形県情報 もちつき交流会/応援しています
- ・特派員日記 ・おすすめ情報 ・リレー応援エッセイ
- ・みんなの声 ・ひと休み ・編集部より

第11号

つながろう! ささえあおう!
復興支援プロジェクトやまがた
TEL023-674-7311
E-mail kizuna@yamagata1.jp
発行数: 4,000部



さアみんな反撃開始だ!! 福島ロッカーズの挑戦



「福島第一原発事故以来、我々福島の間は放射能という見えない怪物と戦っています。たくさんの方から「福島頑張れ」と力を頂きました。でもそれは外から中へのベクトルです。そろそろ我々福島の間が、「外へ」発信する時だと思っ

郡山市のライブハウスCLUB #9とPEAK ACTIONの合同プロジェクト「福島ロッカーズ」が始まった。福島県内十七バンドのボーカリストと有志による公開レコーディングが、一月二十七日行われた。サンボマスターやG Reeenを育てた郡山市内のライブハウス「CLUB #9」の経営者でこのプロジェクトの発起人とプロデューサーを務める福井公伸さんが熱く語る。

●参加アーティスト●

- ACROBAT ATHLETE ONE STEP BUS
- The Hybrid Gered sarah & the elevators
- アポロチョコシアター 清水兼一
- Dita 海王丸 cinnamon sweets
- Blue3 BUZZ STYLE FACTORY
- BRABE MAN ひとりぼっち秀吉 BAND
- juni GOODROCKINDADDY
- PUMPKIN BUSCEDIN DEDEN

物への怒りと、この福島に残る者の決意を日本中に訴えるために郡山の復興を音楽で発信したい。音楽にはセシウムは関係ない。風評と一番遠いところにいるのが音楽なのです。

福島のアーティストで一曲CDを作ります。ACROBAT ATHLETEが曲を書き、それにひとりぼっち秀吉 BAND が歌詞を付けました。その曲のタイトルは「希望の唄」。そしてアーティスト名は「福島ロッカーズ」です。

三月十二日にタワーレコードを通じて全国で発売され、収益金は義援金となります。三月十二日を発売日にしたのは、この日から福島が大きく変わった事を忘れないため。だから、ただの復興応援ソングではないのです。そしてこの曲が僅かでも福島の希望になるよう願っています。」

(伊藤 範)

福島ー山形をつなぐ週末移動支援バス「うえるかむ号」をご利用下さい

[土曜日]

乗降場所	山形発		福島発	
山形駅東口	7:10	12:30	11:30	16:50
山形県庁裏	7:20	12:40	11:20	16:40
福島県庁	8:50	14:10	9:50	15:10
福島駅西口	9:00	14:20	9:40	15:00

乗降場所	米沢発		福島発	
米沢市役所	7:10	12:30	11:20	16:50
米沢駅東口	7:20	12:40	11:10	16:40
万世小前 雇用促進住宅	7:30	12:50	11:00	16:30
万世郵便局前 雇用促進住宅	7:30	12:50	11:00	16:30
福島県庁	8:50	14:10	9:40	15:10
福島駅西口	9:00	14:20	9:30	15:00

[日曜日]

乗降場所	山形発		福島発
山形駅東口	15:00	20:05	19:20
山形県庁裏	15:10	20:15	19:10
福島県庁	16:40	21:45	17:40
福島駅西口	16:50	21:55	17:30

乗降場所	米沢発		福島発
米沢市役所	15:00	20:05	19:20
米沢駅東口	15:10	20:15	19:10
万世小前 雇用促進住宅	15:20	20:25	19:00
万世郵便局前 雇用促進住宅	15:20	20:25	19:00
福島県庁	16:40	21:45	17:40
福島駅西口	16:50	21:55	17:30

※ご利用には予約が必要です。(料金は無料)
メール(shienbus@gmail.com)の本文に、氏名、電話番号、福島と山形の住所、乗車日、乗車便、乗降場所、同乗人数を記載
【問合せ】山形ボランティア隊 本田 090(3756) 9755

From 福島

message

除染か 避難か

福島県自然保護協会事務局 横田清美

福島県自然保護協会は、福島第一原発の事故以来、土壌や水などの放射線量を調べています。除染の水が川を汚染しないか、山や森に降り積もった放射性セシウムはどこへ移動するのか、山の土や川の水を測定器で測ることでその行く先を追跡しています。

土壌汚染は深刻です。福島原発の北西方向六十kmに及ぶ範囲には六十万〜三千万ベクレル/m²の汚染地帯が広がり、まだ多くの人が住んでいます。

しかし、農作物は思ったほど汚染されませんでした。理由は二つ。一つは福島の土は粘土が多いので、セシウムが粘土と吸着し、作物に移行しにくかったため。もう一つは、畑を耕して上下の土をかき混ぜたことでセシウムの濃度が薄まったためです。果樹や山菜などが暫定基準値を超えたのは、土を耕さない作物だからです。

除染すればなんとか住めるようになることもあれば、除染しても住めないところもあると思います。除染すべきか避難すべきか、国は良識ある専門家の意見を聞いて検討すべきです。

放射線量が高い地域では、動物のすみかを壊す無謀な山林除染に多額のお金を使うよりも、子どもたちを早く避難させることを優先させてほしいものです。



普段は自然の楽しさを教えています



From 宮城

message

山形に避難している 宮城県民の皆様へ



迫る大寒波の中でいかがお過ごしでしょうか。

雪で苦労していませんか。

水道管が凍結していないでしょうか。

自然という抗えない物のせいで故郷を離れなければならぬ早十一月。お気持ちは察するに余りありますがいつか宮城がまた元通りになり、また帰ってこられる環境、気持ちになるまで私は宮城の地で皆様を待っていたと思います。

あの時のことはとても綺麗な言葉で言い表せるものではありませんでした。黒い波がすべてを呑み込み残骸を吐き捨てていき、昼間から窃盗が相次ぎ、物資提供時はとり合いいなくなったことなど私の中ではけっして忘れることのできない記憶となっています。

いつかこのことも言葉でまとめられ、美化され、美談として後々まで語られることでしょう。このことは山形の方々には失礼ですがけっして理解できない部分だと思えます。テレビや新聞などではわからないこと、裏も表も、幸も不幸もひっくり返るめてあの時何が起こり、何がありここまでできたのか。

山形の方々との温度差は拭えるものではないでしょうが自分を見失わずに山形の地で御活躍されることを宮城の地で切に願っております。

(いち宮城県民より)

by. 遠藤

冬生活を楽しもう・・・というよりは「乗り切ろう」になってきました 側溝の開口部に注意！

山形県内で雪の多い地区では、生活道路の側溝や流雪溝のふたを開け、雪を側溝の中に投げ捨て流水で流し溶かします。

流雪溝は、大量の雪を素早く流す構造のため間違えて人が落ちるとまず助かりません。落下事故を防ぐために、ふたは二重構造で内側のふたは開けずに雪を捨てるのがルールですが、まれにルールを守れない人がいます。

また、米沢市の住宅街では生活道路の側溝のふたを開け雪を捨てる光景が日常的にみられます。通行人に注意を促す目印としてスノーダンプで側溝の開口部をふさいだり、プラスチック・スコップを立てておく光景が見られます。このような場所は注意しましょう。

この冬も米沢市では幼児が側溝に落ち流される事故が発生しましたが幸運にも助かりました。お子様には、側溝のふたが開いている場所には近寄らないよう十二分に教えてあげてください。



吹雪の開会「もちつき交流会」

「うえるかむ」でも紹介された「新春もちつき交流会 in 鶴岡」、当日朝は、新年迎えて初の大雪・吹雪! 「庄内地方らしい」とは言え、自家用車で来られる方々の参加が危ぶまれ、集まったスタッフ・ボランティアのメンバーもドキドキしながらの準備開始。

フタを開けてみれば、参加者百人以上の大盛況。子ども連れの方が多く「子どものために避難している」その現実を垣間見た思いであった。一方で、六十代以上や子どもがいない世帯の参加も見られ、様々な年代の避難者が、隣り合わせた避難者との交流やアトラクション、つきたてお餅に庄内名物寒鰯汁と、様々な楽しいひと時を過ごされていた。

閉会の時に、南相馬市から避難しボランティアスタッフとして企画から手伝ってきた男性が挨拶し「子ども達の笑顔をたくさん見ることができた。それがなにより」という言葉に多くの参加者が同意されていたようだ。主催者側も「できることは限られているが、少しでも避難者の皆さんのお力添えができればと思う。寄り添い共に歩んでいきたい」と思いを語っていた。(鶴岡市S)



みんな応援しています

山形に避難されている方々に少しでも元気を……そんな思いが込められたプレゼントが、本紙を発行する「復興ボランティア支援センターやまがた」に届く。

株式会社地域環境計画様から届けられたのは、復興への願いが込められた、福島から青森までを見渡せるイラスト入りのカレンダー。いきいきと人が行き交い、海では船が往来するイラストは、いつかきつと……という希望を感じる。

素敵な手作り表札を届けてくれたのは、「日本デコラティブペインティング協会」の方々。ひとつひとつ丁寧にデザインされた、カラフルで素敵な表札だ。

山形市の成人の祝賀式実行委員会様からは、式典に参加した成人の方々から集めた回収ハガキにより、切手を三百十五枚いただいた。本紙の郵送等に使用させていただく予定だ。

山形に縁あって来られた皆さん、たくさんの方が、応援していますよ。

☆カレンダーと表札は、先着順で避難して来ている方にお渡ししています。ご希望の方はお電話でお問い合わせ下さい。



特派員日記 避難ママのつぶやき

去年の今頃、突然思い立って実家の父と息子を連れて来た「上杉雪灯籠まつり」。

日中しか見られなかったけど楽しかったし、夜に見たら綺麗なんだろうなあって思いながらも、栗子峠の雪道が怖くてもう二度と通るまい!と思いつつながら帰ったあの日。

それから半年もしないうちに、米沢に住むことになった私たち親子。

そう考えると、何だか不思議な縁を感じる。米沢に来た当時は、知り合いは一人もいなくて、友だちも他県に避難しているか福島に残っているかのどちらかで、本当に一人だった。それでも動いているとたくさんのお出合いがあつて、今では知り合えばかなりんじゃないかって思うくらい人の縁に恵まれている。

雪灯籠まつりを見に来たあの日、まさか自分と息子がその土地にお世話になるなんて思いもしなかった。あくまでも「観光」だった。

そんな私に、今年の雪灯籠はどんな風に見えて何を思うのだろう。

(あやっぺ)

勧誘電話にご注意ください!

最近、支援活動者や避難されて山形にお住まいの方をねらった悪質な勧誘がおこなわれています。本紙に公開されている電話番号に電話をかけ、「詳しく聞きたい」と呼びだしたり、直接訪問したりして宗教の勧誘をおこないます。皆様ご注意ください。また、本紙をそのような営業・勧誘に利用することは固く禁じますので、現在そのようなことをおこなわれている方は二度としないようお願いします。



あすすめ情報

■～震災後山形に引っ越した方へ～ “ちょこさぼつ”

地域活性化団体もがみUCでは山形県に初めて暮らす人たちのために何かできないかと思い立ち、この「ちょこさぼつ」を開催することにしました。

高校生の私たちでもできるちょこっとしたサポートをして、少しでも山形を楽しんでもらいたいと思っています。

開催日：2月19日（日）

場所：山形市総合スポーツセンター（山形市落合町1番地）

[午前の部]

【大会議室】10：30～12：00（10：00～受付開始）

・最上地域PR・福岡からのメッセージ上映・読み聞かせ（図書委員）
・スライムづくり・東北6県特産物スイーツ試食会

[午後の部]

13：00～14：45（各種催し随時開催）

【第2会議室】・読み聞かせ ・スライムづくり

【第3会議室】・マフィンの試食・メッセージ上映・やまもり！VTR

[問合せ] もがみUC（新庄南高校）

山形県新庄市城南5-5 TEL：0233-22-1547（担当：高橋）

■創造性を育もう！からだを動かして遊ぼう！

被災・避難者支援「幼児体育ランド」

お子様を体育ランドでお預かりします。その間、希望により、保護者の皆様はお買い物に行ったり好きなことをしたり、自由にお過ごしく下さい。

対象：年少児～年長児（被災・避難されている方に限る）

費用：無料 保育時間：9：00～12：00

持ち物：タオル・着替え・水筒（飲み物）

定員：1日あたり15名

開催日：2月8日、13日、15日、20日、22日、27日、
3月5日、7日、12日、14日、19日

託児：開催時間中、外出されたい方は託児希望の旨伝えて下さい

内容：1. 体育教室：身体能力に合わせた運動や基礎となる運動能力を高める運動をおこないます

2. 積木教室：たくさんの積木を使用し自分で考え発見する力を身につけていきます

申込み：事前にクラブハウスに来ていただき、入会申込書に記入し登録してください。その後電話やメールにて事前申し込みが可能です。（先着順）

[主催・問合せ]NPO 法人生涯スポーツ振興会APLS（アプルス）

山形市南二番町8-3 TEL 023-631-1147 FAX 023-631-1214

E-mail master@apls.gr.jp

■山形交響楽団 復興支援・子育て応援演奏会

『0才児からのコンサート 親子でたのしいオーケストラ』

日時・場所：

・平成24年2月25日（土）午後2時開演（午後1時30分開場）
新庄市民プラザ（新庄市大手町1番60号）

・平成24年2月26日（日）午後2時開演（午後1時30分開場）
上山エコーホール（上市市けやきの森2番1号）

入場料：大人 / 500円 高校生以下 / 無料 ☆全席自由☆
震災により被災されました方を無料でご招待いたします。

確認できるものをご持参の上、ぜひお越し下さい。

※入場料は、全額震災復興支援の義援金として寄付いたします。

主催：山形県 後援：新庄市、上市市教育委員会

[問合せ] 山響チケットサービス

TEL：023-625-2204 E-mail：ticket@yamakyo.cr.jp

（土曜・日曜・祝祭日を除く AM 10：00～ PM 5：00まで）

■♪♪JA鶴岡 地産地消フェスタ♪♪

JA鶴岡主催の「地産地消フェスタ～田舎料理『味楽来』レストラン・絆～」が開催されます。

農家の女性たちが地元の農畜産物を使って手づくりした料理を楽しんでいただくミニレストランです。旬の鶴岡の田舎料理を味わって下さい。

日時：2月24日（金）13：00～15：00

場所：グランド エル・サン（鶴岡市東原町17-7）

定員：先着120名 申込締切：2/20（月）

参加費500円で10品の試食が出来ます♪

避難者の皆様を1/31～先行申し込み受付中です。

申し込みの際には「うるかむを見た」とお伝えください♪

主催：JA鶴岡 共催：鶴岡市食育地産地消費推進協議会

[申込み]JA鶴岡経済部生活課 TEL：0235-23-5045

■山形から被災地へ ～活動のキロク～

活動記録の写真を展示しませんか？

東日本大震災からもうすぐ1年。この1年間、山形県内からたくさんの方々が支援活動をおこなってきました。この度、『3.11 キオクのキロク』市民が撮った震災記録写真パネル展 in 山形 開催にあたり、同時開催として山形県の活動記録写真展をおこなうこととなりました。皆様の活動をぜひご紹介ください。

・「3.11 キオクのキロク」市民が撮った震災記録写真パネル展 in 山形
・山形から被災地へ ～活動のキロク～（同時開催）

期間：2月28日（火）～3月11日（日）※入場無料

場所：山形市市民活動支援センター「NPO ギャラリー」

（霞城セントラル23階）

開催時間：9：30～18：00（28日のみ13：00～18：00）

《活動記録の写真・送付について》

以下のものをEメールもしくは郵送で、「復興ボランティア支援センターやまがた」までお送り下さい。

主催者側でA4版に印刷し、ラミネートして展示いたします。

[対象者] 東日本大震災に係る支援活動をされた方

（組織形態は不問、個人も可）

[お送りいただくもの]

①活動している写真（解像度300以上のデータもしくは現物）

②写真送付用紙・・・記入して同送ください

※用紙は復興ボランティア支援センターやまがたのホームページ

よりダウンロードできます。（平成24年2月13日（月）〆切）

[送付締切][問合せ] 復興ボランティア支援センターやまがた（10：00～17：00、土日祝休館）

TEL 023-674-7311 E-mail：kizuna@yamagata1.jp

主催：NPO 法人20世紀アーカイブ仙台

つながろう！ささえあおう！復興支援プロジェクトやまがた

共催：山形市市民活動支援センター

みなさまからの情報をあ寄せ下さい！



避難されている方に伝えたいメッセージ、サービス、イベントなど、避難されている方からの声や要望など、みなさまからの情報をお待ちしています。送ってくださる場合は、「復興ボランティア支援センターやまがた」まで。お待ちしております！

■復興ボランティア支援センターやまがた

[住所] 山形県山形市松山3丁目14番69号（FM山形ビル1階）

[TEL]023-674-7311 [FAX]023-674-7312 [E-mail]kizuna@yamagata1.jp

[開館時間]10:00～16:30 [休館日]土日祝日、年末年始、夏期休業

[ウェブサイト] http://kizuna.yamagata1.jp/（モバイル閲覧可）

※ 駐車場に限りがありますので、乗り合わせ等ご協力ください

■やまがた育児サークルランドからのお知らせ

避難している方同士の支え合いのために2つの講座を受講して活動してみませんか。子育てにひと段落した方、みなさんの手助けをしたいと考えている方、ぜひご参加ください。

◆子育て支援者養成講座 ～子どもの保育に関するボランティア～
(託児あり1才～ 定員6名)

日時：2/15、2/16、2/17、2/20、2/21 10:00～16:00

◆先輩ママの家庭訪問ボランティア養成講座 ～家庭を訪問しママの話し相手、外出の付き添いなどのボランティア～

日時：2/23、2/28、3/6、3/8、3/13、3/15、3/19、3/21 10:00～15:30

・会場：山形市総合福祉センター、山形市男女共同参画センター
(山形市城西町2丁目2-22)

[申込み・問合せ] 特定非営利活動法人 やまがた育児サークルランド TEL 023-673-9336 E-mail info@ikujiland.jp

■子育てママの心がフワッと軽くなる魔法の質問・ワークショップ

震災により山形県内へ避難されているママたちのためのとっておきの講座を開催します。お茶を飲みながらお話しませんか？お子様とご一緒に参加も可能です。

日時：2月22日(水) 10:30～12:00 (10:15受付開始)

会場：山形県NPO支援センター 第2研修室(山形市城西町1-7-19)

対象：震災の被災地から山形県内に避難している方。又は、山形県在住で避難されている方と交流を希望される方。

定員：15名(2月22日締切) 参加料：無料

講師：鈴木史信 氏

[申込み・問合せ] 氏名、ご住所、連絡先、交通手段、お子様の年齢をご連絡ください。

山形市創造NPO支援ネットワーク TEL: 023-647-0675 FAX: 023-647-0676 mail: npofarm@amil.plala.or.jp (担当: 大沼、伊藤)

■法務局からのお知らせ

法務局では、震災・原発事故により避難されている方々からの電話相談に応じています。

●登記・戸籍・供託などの相談 0120-227-746

相談時間：平日 8:30～17:15 / 休日 9:00～16:00

- ・土地や建物の権利証の紛失
- ・倒壊、流失した家屋の登記申請手続
- ・相続に関する登記申請手続
- ・会社の印鑑や印鑑カードの紛失したときの手続
- ・戸籍の証明書の発行手続
- ・死亡の届出
- ・家賃の供託手続

●人権の相談

風評被害による人権侵害や学校におけるいじめなど

相談時間：平日 8:30～17:15

- ・みんなの人権110番(人権一般の相談) 0570-003-110
- ・子どもの人権110番 0120-007-110
- ・女性の人権ホットライン 0570-070-810

■【山形大衆 歌祭り】歌い上手は聞き上手 愛と心の夢結び ☆頑張り日本 がんばれ東北☆ガンバレ 福島 岩手 宮城

当協会では、毎年2月に、県民・市民の方々の活力とゆとりと元気に楽しみを与えられればと「大衆歌祭り」を企画実行しております。

今回は、山形に避難されている方々にも、歌・踊りそして催しとで一日を楽しんで頂ければと思います。友人・知人・身内の方をお誘いの上、ご来場ください。心よりお待ちしております。

開催日時：2月12日(日) 午前10時～ 入場料：1000円

※避難されている方々に無料券を配布しております。

復興ボランティア支援センターやまがた又は山形市避難者交流支援センターにてお受け取り下さい。

会場：山形テルサ(山形駅西口) 主催：山形県大衆音楽協会

[問合せ] 村山和男(事務局長 携帯) 090-1496-4866

■福島ママ&山形ママ交流会第二弾

山形の冬を思いっきり楽しもう! 「みんな集まれ! 雪遊び」

日時：2月10日(金) 10:00～12:00 (9:45受付開始)

場所：みはらしの丘 ミュージアムパークはらっぱ館

住所：山形市大字松原1680番地

内容：・ちびっこそり滑り・的あてゲーム・雪工作・雪中宝探し

※荒天の場合ははらっぱ館内での遊びに変更になる場合があります。

※屋内の施設でも遊べますので雪遊びできないお子さんや赤ちゃんもどうぞ。

[問合せ] 菅野：080-5533-2698 sugamomo3@voice.ocn.ne.jp

主催：子育てサークル 新婦人山形支部エンジェル班

■シネマエール東北 東北に映画を届けよう! プロジェクト震災復興支援 山形市上映会

上映作品 「映画ドラえもん のび太の恐竜 2006」

入場無料(事前申込は不要です)

日時：2月11日(土) 午後2時

会場：山形市総合スポーツセンター 3F 大会議室

主催：山形市避難者交流支援センター、シネマエール東北

[問合せ] 山形市避難者交流支援センター TEL 023-625-2185

■子どものために知ることから始める『卒原発』を広める講演会～私たちは原発からの卒業を呼びかけます～

只今、避難されている方々に無料券を配布しております。

復興ボランティア支援センターやまがた又は山形市避難者交流支援センターにてお受け取り下さい。

【第1回講演会】 講師 安斎 育郎 氏

『どうする日本の原発政策 正しく知ろう! 放射能汚染と健康被害』

日時：2月16日(木) 開会：13:45～16:00

会場：山形テルサ大ホール 資料代：300円

【第2回講演会】 講師 和田 武 氏

『卒原発・再生可能エネルギー中心の社会へ』

日時：3月11日(日) 開会：13:30～16:00

会場：山形市民会館小ホール 資料代：300円

[問合せ] 「卒原発」を広める講演会実行委員会

事務局連絡先 山形県生活協同組合連合会

TEL: 023-686-6261

うえるかむは県内各地で設置しています

山形県各総合支庁・市町村窓口/山形市内の公民館・コミュニティセンター(9施設)/復興ボランティア支援センターやまがた/山形市避難者交流支援センター/米沢市避難者交流センターおいで/東根市タントクルセンター/山形市市民活動支援センター/山形市市民活動センター/読売センター神町/元気玉プロジェクト推進本部(福島県会津若松市)/生活協同組合共立社(CO-OP)(山形県内)/山形市総合福祉センター

★部数が不足しておりますが、コピーして補充し、避難されている方へ個別郵送して下さる市町村が増えてきました。ありがとうございます!



みんなの声

● 習い事を全部やめさせて山形に来ました。バレエ教室に通わせたんですけどよね〜(伊達市小学生の母)

● どうせ生きてる間には帰れないんだから、がれき置き場にしてみたらいいのにならしてお金かけて余所へ持って行くのかしら。そのお金で支援してもらいたいのに。(大熊町女性)

● このようなことになってようやく人と人のつながりを感じました。もっと早く気付きたかったです。あきらめない! 浪江!(浪江町女性)

・・・配布しています・・・

特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワークが発行している、福島の情報満載の「絆新聞」を当センターでも配布しています。ご希望の方は、直接ご来所いただくか、お問い合わせください。



・・・募集しています・・・

「みんな何を思っているのかな」「毎日どう過ごしているのかな」山形に来てみて思うこと、感じたこと、たくさんあると思います。日頃の思いや望みを送ってみませんか?

[投稿方法] 下のQRコードを携帯のバーコードリーダーで読み取り、メールでお送り下さい。

もしくは
kizuna@yamagata1.jp まで。



リレー応援エッセイ 笑顔をつくる

幸せのレシピ

料理を通して避難者の皆さんと山形在住の皆さんとの交流事業を開催させて頂いています。料理を通して参加者の皆さんの顔がニコニコしてくるのを見るのがとても嬉しかったです。

「なぜ料理?」と聞かれた時、私自身家族の為に料理を作らなければならぬ立場になった時のことを思い出しました。

夕方のメニューが決まらず四時ぐらになると胃が痛くなって、「お義父さんにこのメニューが不評だったら、押さえでイカのお刺身を・・・」みたいな毎日でした。でも売っているような綺麗なものは出来なくても、一から出汁をとって、新鮮な食材を選んで素朴に作ったものは必ずほめて貰えたのです。

身体に入るものだから、健康でいて欲しいから、そんな願いのこもった「食」は毎日の関心事であり、誰でも話が出来ると、参加できる分野です。

親子ほどの年代差も男女差も乗り越えて、色んな形の素材を刻みながら、少しでも日常の緊張がほぐれたら、笑えたら、それはどんなメニューであっても幸せのレシピなのではないかと思えます。(鈴木幸子)



ひよっとしてイイことあるかも? ひょう干しの煮物

山形に伝わる伝統的な料理のひとつです。お正月に食べる風習は「いいことがありますように」の願いが込められています。

[材料]

- ・ひょう干し 40g
- ・油揚げ 2枚
- ・人参 50g
- ・糸コンニャク 1/8袋
- ・ささかま(又はちくわ) 50g

- ・油 大2
- ・塩 小1/2
- ・砂糖 大2
- ・しょう油 大3
- ・酒 大3
- ・だし汁 1カップ



[作り方]

- ① ひょう干しは水から火にかけ、煮立ったら火を止め一晩そのままつけて置く。
- ② 翌日、水を取り替えて油抜きをした油揚げと人参も同様に短冊に切る。
- ③ ささかまは5mmの厚さに切る。ひょうは4cmぐらいの長さに切る。
- ④ 油で全ての材料をさっと炒め、だし汁と調味料を加えて煮汁がなくなるまで煮る。

レシピ提供者: 映画「よみがえりのレシピ」製作委員会 鈴木淳子さん

支援センターのサイトをご覧ください → <http://kizuna.yamagata1.jp/>



情報提供、活動協力などお待ちしております

避難者向けフリーペーパー「うるかむ」

発行元: つなごろう! ささえあおう!
復興支援プロジェクトやまがた
〒990-2412 山形県山形市松山三丁目14番69号
「復興ボランティア支援センターやまがた」
TEL 023-674-7311 FAX 023-674-7312
E-mail kizuna@yamagata1.jp
WEB <http://kizuna.yamagata1.jp/>

イベントなどの情報を、WEBでも掲載しています。また、センターブログでは支援活動のようすやイベントの報告などもしていますので、ぜひご覧ください。



編集部より

● 大雪により足元の悪い日々が続きます。でも頭上のせつびにも注意しなければなりません。せつびを知らない? 屋根からびろーんと垂れ下がっている雪のことです。山形弁では何て言うんだろう? 「せつび…雪尻↓新潟魚沼弁」(伊藤範)

● 前回の号で載せきれなかった私の記事が掲載された。敗者復活のようで嬉しい。(遠藤)

● 例年になく大雪。今は真っ白だけど、立春を迎え、少しずつ少しずつ、確実に雪解けは近づいています。こんなに寒いと、春が待ち遠しいですね。ぽかぽか春よ早く来い。必ず春は来るからね。(海谷)